

## 第 88 回 筑波山ハイキング

大井 泰典

(株)オオイ(第六支部)

平成30年8月26日(日) 快晴

8月26日(日)、東塗商ハイキング同好会による筑波山ハイキングが実施されました。予定としましては、つつじヶ丘から女体山・男体山を登頂し、筑波山神社に向かうコース計画でした。

参加者は、磯部さん、若林さん、石井さん、大河原さん、高橋さん(青年部)、乾さん、原夫人、山本さん、私(大井)の9名でした。

この日は、お盆も過ぎたというのに非常に暑く、つくば市 37℃という予想が出ていました。‘何でこんな暑い日に・・・’と思いながら家を出ました。

午前9時10分、TXつくば駅に集合、バス停に向かいました。午前9時30分発のシャトルバスで出発。バスは満席状態で立っている人も多く、旧型のバスで冷房の効きも悪かったため、更に暑さが増しました。

1時間弱で終点のつつじヶ丘に到着、バスを降りるとやっぱり暑い。集合写真を撮り気合を入れて登山スタート。ガマの遊園地を横目に見ながら登山道を登って行きました。

特にはじめの30分は、日光をさえぎる木々もなく見通しのいい階段で、景色は素晴らしいものがありましたが、とにかく暑く大変でした。バケツの水をかぶったような状態で、大汗をかき登って行きました。

そのような状況でしたので、途中から少し早歩きの磯部さんチームとゆっくりペースの若林さんチームに分かれて進んで行きました。私と高橋さんは若林さんと一緒に行きました。

いつもですと途中1、2回の休憩で頂上まで行くのですが、暑さでバテバテとなり、10回以上休憩を入れるような状態でした。

皆さんは頂上で冷たいビール、私は家に帰って冷たい水風呂を励みに頂上を目指しました。途中、カップルが大喧嘩しているのが目に入ってきました。様子をうかがっていると、頂上までロープウェイで往復する予定を、男の子が帰りに登山道を歩いて降りるという選択をしてしまった事にあるようでした。そんな小さなエピソードに遭遇しながらも、ようやく2時間あまりで女体山山頂に到着、大勢の人で賑わっておりました。また断崖絶壁から恐る恐るのぞきこむ景色は怖いけど最高でした。

そこから少し歩いて昼食場所に到着。磯部さんチームは、すでに昼食をとりながらくつろいでおりました。昼食を楽しんだ後、男体山へと向かいました。本来は全員で行く予定でしたが、4人が挫折、5人で男体山山頂を目指しました。それから20分程で登頂。こちらの景色

も女体山に勝るとも劣らず素晴らしいものがありました。一面に広がる平野は絶景でした。

再び引き返し、挫折組と合流。時間も遅くなってしまったので、全員ケーブルで降りる事になりました。下山後は、筑波山神社を参拝しました。あまりに立派な神社なので色々と願い事をして参りました。

バス停に着いた所で、隣接するお店で、待ち時間に皆でソフトクリームを食べました。冷たくて甘くて、とてもおいしかったです。帰りのバスはガラガラでしかも新型、冷房の効きも良く快適でした。皆さんお疲れのようでぐっすり寝ておりました。

TXつくば駅に到着しますと、駅のショッピングセンターの中にあるお蕎麦屋さんで打上となりました。本日の出来事、次回の予定などを取り決め、散会となりました。

今回のハイキングは暑さとの闘いでした。ただ、熱中症で具合が悪くなられる方もなく、全員無事にハイキングを終えられてとても良かったと思いました。

皆さん、どうもお疲れ様でした。